

令和5年度

大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちようカレッジ」報告書



まちづくり

「いち たね」



いちよう
カレッジ

OSAKA CITY

まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできることから始めたい。
「いちようカレッジ」は、そんな人と、これからの「まちづくり」をいっしょに考えます。

今年度のいちょうカレッジ参加者

全 **13** コース のべ約 **1,500** 人



いちょう
カレッジ

OSAKA CITY

「いちょうカレッジ」とは

誰もが安心でき、住み続けたいまちをめざして

それぞれがまちの「課題」をもち寄り、まちづくりの「ヒント」をもち帰る。いちょうカレッジがめざすのは、頼れるまちづくりのプラットフォームです。開かれた市民大学として、「学んだことを地域で活かす」をテーマに、学びと実践の循環を実現し、魅力的なまちづくりをサポートしていきます。

「やってみたい」が見つかる、講座・グループワーク・まち歩き体験などをはじめとした、入門科、プレ本科、本科、専科の4種類のコースからなる、体系的かつ多彩なカリキュラムで、あなたの学びたい気持ちを応援します。

も く じ



まちづくりの第一歩。まずは参加してみたい方へ

大阪のまち文化コース	4
大阪のまち探検コース	5



これから地域と関わってみたい方へ

まちとつながる/感覚のブリコラージュコース	6
大阪の魅力発見コース	7



学んだことを地域で活かすためのコース

まちとつながる/感覚のブリコラージュコース	8
大阪の魅力発信コース	12
本科特別コース「まちづくりの種まき」	16



地域活動に役立つ知識や技術にみがきをかける

チャレンジ★インタビューコース	18
いのちを守る防災コース	19
こどもと地域社会コース	20
ここから始める情報発信コース	21
チームでどうする取材実践 チーム取材力アップコース	22
まちづくり はじめの一步コース	23
受講実績・アンケート結果	24
次年度のいちょうカレッジ・お問い合わせ	26



入門科①

大阪のまち文化コース

大大阪時代へタイムスリップ! 絵葉書、人物、建築物、鉄道とそれぞれの視点から大阪のまちの歴史と発展について学びました。

日時 5/24~6/14 毎週水曜日 10:00~12:00 全4回

参加者数 40名(のべ139名) **会場** 総合生涯学習センター

1

5/24

絵葉書で訪ねる大阪の近代化と大大阪時代

大阪の近代化とわくわくする都市であった「大大阪時代」を絵葉書で巡る

辻本 攻

絵葉書研究者/
木版絵葉書収集家

2

5/31

淀川を変えた明治の偉人・大橋房太郎の物語

明治時代、大阪に幾度となくもたらした大水害を阻止すべく、淀川の治水に命を懸けた近代大阪のヒーロー「大橋房太郎」についてのお話

小川 清

平岡珈琲店三代目店主

3

6/7

「大阪市パノラマ地図」で大正時代の大阪を知る

大正12年に作成された「大阪市パノラマ地図」に、詳細に描かれている当時の大阪の建物や街並みと今も残る建物の紹介

前阪 恵造

大阪公立大学
大阪検定客員研究員/
大阪高低差学会会員

4

6/14

都心に眠る鉄道遺跡で巡る「梅田」の変遷

明治7年、官営鉄道が開通し大阪駅の開業をきっかけに、その後、目覚ましく発展、常に変貌し上書きされていく「梅田」のまちを鉄道の変遷と共に探る



絵葉書の観覧(第1回)



治水翁大橋房太郎について(第2回)



古地図から見る大阪のまち(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- 講師の方々の知識が豊富でとても興味深く話を聞くことができました。
- 古地図や写真を利用していたので、具体的にイメージができました。
- 大阪の歴史を包括的に学び直せました。また、多くの資料も示されていて、自分で調べることができるのでよかったです。



入門科②

大阪のまち探検コース

現在まで残る身近な大阪の地名の由来や、まちにまつわる様々な歴史やエピソードについて学びました。

日時 5/30～6/20 毎週火曜日 14:00～16:00 全4回

参加者数 44名(のべ158名) **会場** 総合生涯学習センター

- | | | | |
|---|------|---|----------------------------------|
| 1 | 5/30 | 梅田の風景にかくれた歴史地理さんぽ
総合生涯学習センター周辺の地図散歩で梅田の歴史の流れを知る | 本渡 章
作家・古地図コレクター |
| 2 | 6/6 | 歴史ドラマは大阪市北区で起きていた！
過去から現代まで、様々なバラエティに富んだ北区の魅力について | 中島 淳
編集集団140B 代表 |
| 3 | 6/13 | 知っているようで知らなかった
「大阪の地名由来」
日本有数の歴史あるまち大阪の、様々な地名由来について | 沖本 然生
大阪をおもしろくする会 代表 |
| 4 | 6/20 | 大阪七墓巡りについて
日本最大の巡礼都市であった江戸時代の大阪の風習
「七墓巡り」について | 陸奥 賢
観光家/コモンズ・デザイナー/
社会実験者 |



講師所有の古地図と合わせて解説(第1回)



北区にある身近な史跡(第2回)



律令制と五畿七道(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- 近くなのに知らない事ばかりで、もっと大阪を知りたいと思いました。
- 普段知るチャンスが少ない、大阪市の歴史を知ることが出来た。
- 4回とも講座の内容にどんどん引きこまれ、充実した時間になりました。



プレ本科①

まちとつながる/感覚のブリコラージュコース

身近にある様々な「モノ」や「コト」を組み合わせ、新しい魅力を生み出す「ブリコラージュ」の手法をワークショップを通じて体験し、まちづくりへの活かし方を学びました。

日時 7/14～8/18 毎週金曜日 19:00～21:00 全5回

参加者数 24名(のべ77名) 会場 総合生涯学習センター

1 7/14

“オンガク”でブリコラージュ!

物事の本来とは違う意味、使い方について考えるための「楽器ではないモノで音楽を作る」ワークショップの体験

2 7/21

“カタチ”でブリコラージュ!

自分の名前や関心をテーマに、自身のロゴマークを考えるワークショップの体験

3 7/28

“エンゲキ”でブリコラージュ!

即興演劇でいちょうカレッジのCM作りに挑戦するワークショップで、自分や他の人の特性・魅力について考えました

4 8/4

“アート”でブリコラージュ!その1

「つつむ」をテーマに、世界に1つだけのアート作品づくりに挑戦しました

5 8/18

“アート”でブリコラージュ!その2

前回の講座でつくった作品について発表し、想いを共有する展示会を実施しました

山本 あつし

名古屋学芸大学
メディア造形学部
デザイン学科 准教授/
事業プロデューサー



様々な図形を組み合わせるロゴ作り(第2回)



笑い声が絶えない稽古風景(第3回)



作品に込めた想いの解説(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- 楽器演奏、演劇、アートなど幅広いテーマで受講出来てとても楽しかった。「ないものねだり」ではなく「あるものいかし」の考え方を実践していきたい。
- 今後、今回の発想・経験を役立たせていきたいと思います。
- 毎回とても感動しました。とても気付きが多い講座でした。



プレ本科②

大阪の魅力発見コース

大阪の魅力を発見するため、講師の様々なお話や、まち歩きの実験を通じて、大阪にまつわる文化や歴史などを学びました。

日時 8/29～9/26 毎週火曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 26名(のべ116名) 会場 総合生涯学習センター

- | | | | |
|---|------|---|---------------------------------------|
| 1 | 8/29 | オリエンテーション/まちの魅力を発見するポイント
これから学ぶ内容と本科コースとの関係性の説明、まち歩きコースの紹介 | 陸奥 賢
観光家/コモンズ・デザイナー/
社会実験者 |
| 2 | 9/5 | 大阪の集団芸術がすごい!
西成に活動拠点を置くアーティストによる大阪で活躍する
集団芸術についての解説、紙粘土で表現するワークショップ | 【ゲスト講師】
KOURYOU
アーティスト |
| 3 | 9/12 | 大阪の花街あれやこれや
お茶屋のご主人によるお茶屋文化についての解説、
大阪の花街の今昔についてのお話 | 【ゲスト講師】
谷川 恵
お茶屋たに川 主人 |
| 4 | 9/19 | 歩いて発見!まちの魅力を探しに行こう <small>まち歩き</small>
昨年度の本科修了者のガイドによるまち歩きの体験 | 陸奥 賢
【ガイド】
令和4年度
いちようカレッジ修了者 |
| 5 | 9/26 | まち歩きスゴロクを体験してみよう
各回の振り返りとまち歩きスゴロクの体験 | 陸奥 賢 |



ワークショップ(第2回)



お茶屋文化の解説(第3回)



修了者のガイドでまち歩き(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 色々な角度から大阪の魅力を教えてもらえた。
- 長い間大阪に住んでいるが、知らないことが多く、楽しい時間を過ごせた。
- 参加していろいろ考えるきっかけが出来たのが嬉しかった。

本科「まちとつながる/感覚のブリコラージュコース」 主任講師からのメッセージ

関西人のいいところのひとつは、何でもおもしろがれることではないでしょうか？

異なる意見や立場に対する不寛容さによって、経済的、社会的、政治的な格差が広がり、分断や対立が深まる今の時代にこそ、そんな関西人の「おもしろがる」姿勢が必要であると感じます。

「良い・悪い」、「正しい・正しくない」というモノサシで判断するのではなく、まずは「おもしろい！」と言って受け入れてみる。そんな寛容なコミュニケーションが世界を救うのでは!? こう言うとちょっと大袈裟に聞こえるかもしれませんが、実は「まちとつながる/感覚のブリコラージュ」も、そんなことを考えながら企画した講座でした。

「ブリコラージュ」とは、身の回りにあるモノを寄せ集め、試行錯誤しながら何かをつくるという意味の言葉。例えるなら、いろんな産地から高級食材を取り寄せて極上の料理をつくる…のではなく、その日冷蔵庫にある物を組み合わせて美味しいものをつくるオカンの知恵といったところでしょうか。そのコツは、食材の持ち味をよく知り、最適な形で活かすことだと思います。そして、この考え方はモノだけではなく、コトにも、そして人にも当てはまるというのが自論です。

十人十色と言いますが、人の感覚は違って当然、同じだったら奇跡。そんなスタンスで、それぞれ独自の感覚に目を向け、違いをおもしろがりあう。そこから互いを認め合うことができるようになり、人と人が繋がり、人とまちが繋がっていくのではないかと。そんな仮説のもと、ワークショップやレクチャーを経て、自らが思い描いたビジョンを実現するためのマイ・ブリコラージュ・プロジェクトを発表しあう、全12回のカリキュラムを組みました。

今年度は20代～70代と幅広い層の受講者が集まってくれました。そんな皆さんが回を重ねるごとに仲良くなっていき、休憩時間や講座後にも楽しそうにお話しされている姿を見て胸が熱くなりました。やさしい社会を生み出す「人のブリコラージュ」の輪が、ここから広がっていくことを願います。



主任講師
山本 あつし



本科①

まちとつながる/感覚のブリコラージュコース

身近にある「モノ」や「コト」を組み合わせる新しいモノ/コトを生み出す「ブリコラージュ」の手法や魅力を学び、魅力的な場づくり・まちづくりのための「マイ・ブリコラージュ・プロジェクト」をみんなで考えました。

日時 9/22～12/15 毎週金曜日 19:00～21:00 全12回

参加者数 20名(のべ181名) 会場 総合生涯学習センター

1	9/22	オリエンテーションと自己紹介 受講者同士、お互いを知るための自己紹介、講座の受講動機について	
2	9/29	ブリコラージュって何だろう？ そもそもブリコラージュとは何なのか、いくつかの事例紹介と共に考える	山本 あつし 名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 准教授 / 事業プロデューサー
3	10/6	ブリコラージュの発見① 日常の中にあるブリコラージュ事例の発見・共有	
4	10/13	ブリコラージュの発見② それぞれが「超珍しいもの」を見つけるフィールドワークで、視点の違いについて考える	
5	10/20	ブリコラージュ・ケーススタディ① <small>講師オンライン登壇</small> ゲスト講師によるブリコラージュの考え方を活かした取り組みの事例紹介	
6	10/27	ブリコラージュ・ケーススタディ② <small>講師オンライン登壇</small> ゲスト講師によるブリコラージュの考え方を活かした取り組みの事例紹介	山本 あつし [ゲスト講師] 重本 晋平 まちくさ博士
7	11/10	ふりかえり ブリコラージュの発見・ゲスト講師のケーススタディを通して気付いたことの共有、発表	山本 あつし [ゲスト講師] 井垣 理史 名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 准教授 / アーティスト
8	11/17	マイ・ビジョンの共有 ブリコラージュの手法を使ってやってみたいこと・実現したいことのビジョン(未来像)の共有・発表	
9	11/24		
10	12/1	マイ・ブリコラージュ・プロジェクト発表会①～③ ビジョンを実現するための「マイ・ブリコラージュ・プロジェクト」の発表	
11	12/8		
12	12/15	ふりかえり 本科での学びの振り返り	山本 あつし

講座風景



オリエンテーションと自己紹介



ゲスト講師オンライン登壇



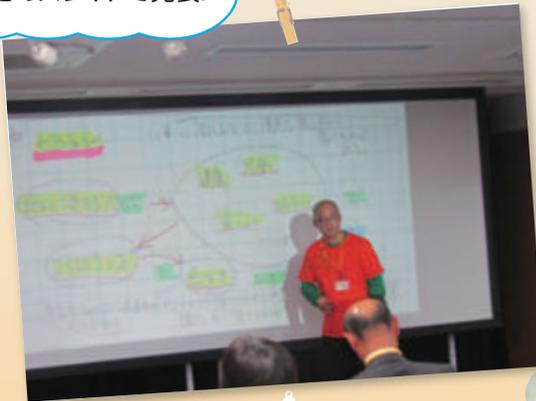
最終発表

自分自身が解決したいことや変化させたいことを、プリコラーージュの手法によって解決する計画「マイ・プリコラーージュ・プロジェクト」を発表しました。

緊張のトップバッター



手書きのスライドで発表!



笑いあり涙あり
発表後のふりかえり

受講者の声 (アンケートより)

- 学びと人とのつながりを感じられた、普段話さない年代の方とも交流ができた。
- 沢山のひとと出会えて、新しい力を得たことが大変よかった。
- 何より、先生の進行が素晴らしかったです。どの人も肯定的に受け止めて、その人の良いところを引き出してくれました。

本科「大阪の魅力発信コース」 主任講師からのメッセージ

今年の「大阪の魅力発信コース」は非常に意欲の高い方々が集まったという印象です。これはプレ本科の「大阪の魅力発見コース」の段階から本科の「大阪の魅力発信コース」でやること…チームに分かれて自分たちで取材、リサーチしてまち歩きフォトスゴロクを作成して実際にガイドデビューをすること…などを事前に伝えられるようなカリキュラムを組んだことが功を奏したのではないかと考えています。プレ本科から本科にきた方が例年よりも多く、それらの方々はとても前向き、ポジティブに本科のカリキュラムに取り組んで頂けました。結果として「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」「中津駅」「西長堀駅」「蒲生4丁目駅」をスタートにした4つのエリアのまち歩きフォトスゴロクが完成しました。

「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」は天王寺七坂をテーマにしたもので、ある意味、定番のコースですが、天王寺界隈は史跡・名所・旧跡がテンコ盛りであるので、逆にどこを巡って、どこを紹介して、どこを省くか?という問題に直面します。あれもこれもと紹介したくなるのですが、みなさん、何度も対話を重ねて見事に時間通りにコースが選定されました。

なかなか例年になく、面白いエリアを選択したなあと思ったのが「中津駅」「蒲生四丁目駅」の2コースです。大阪市内では珍しく空襲の被害などがなくて古い長屋や町屋が残っているエリアですが、レトロな町並みに着目した若者たちが建築をリノベーションして新しい店舗やコミュニティ・スペースを作ったりしています。「はじめて来た!」という方も多かったようですが、まちの魅力に取りつかれた受講者も多かったようです。

「西長堀駅」のまち歩きは、西長堀駅からスタートして堀江、新町、四ツ橋、心斎橋を経て長堀橋駅まで行くというロングコースでした。じつはガイドツアーの2時間が終了した後もガイド欲(?)が止まらないのか、有志のみなさんで続編(長堀橋から末吉橋まで)が実施されたほどの熱の入れ具合でした。

講師から教えられるという受動的な学びではなくて、自分たちで、自主的に、主体的に学ぼうとするアクティブ・ラーニングが大事であると思っていますので、この情熱、パッションは非常に嬉しいものでした。この「大阪の魅力発信コース」をキッカケに、どんどんと大阪のまちの魅力の発信者になってもらいたいと思います。



主任講師

陸奥 賢



本科②

大阪の魅力発信コース

まちの魅力を発信するための講座・グループワークや、まち歩き体験・まち歩きガイドの実践を通して、大阪の人とまちの魅力伝えるエディターを育みました。

日時 10/17～2/27 毎週火曜日 14:00～16:00 全15回

参加者数 27名(のべ315名) **会場** 総合生涯学習センター

1	10/17	オリエンテーション/自己紹介とまち紹介 大阪のまちの魅力とゲスト講師の紹介	陸奥 賢 観光家/コモンズ・デザイナー/ 社会実務者
2	10/24	まちの魅力を伝える方法/まち歩きに出かけよう① まち歩き まちの魅力を探る方法について/主任講師によるガイドでまち歩き(総合生涯学習センター周辺)	陸奥 賢
3	10/31	西成と鯛よし百番から見る歴史の側面 西成区の特徴の変遷と鯛よし百番について	【ゲスト講師】 杉浦 正彦 一般社団法人MicroHeritage 共同代表/大阪府簡易宿所生活 衛生同業組合事務局長
4	11/14	まちを撮る、人を撮るドキュメンタリー映画製作 作品に関わる人とまちについて、ドキュメンタリー映画とは	【ゲスト講師】 武田 倫和 映画監督
5	11/21	劇場とまちの新しい関係 ピッコロシアターの取り組み紹介、劇場の役割について	【ゲスト講師】 古川 知可子 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター) 広報交流専門員
6	11/28	まち歩きスゴログについて/まち歩きガイドのコツ 過去のまち歩きスゴログの紹介と、作成するコツ・ポイントの解説	陸奥 賢
7	12/ 5	【グループ活動】まち歩きスゴログの制作① グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	
8	12/19	【グループ活動】まち歩きスゴログの制作② グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	
9	1 /16	【グループ活動】まち歩きスゴログの制作③(完成) グループに分かれてまち歩きスゴログの制作	
10	1 /23	まち歩きに出かけよう② まち歩き まち歩きガイドのポイント/主任講師によるガイドでまち歩き(平野郷を巡る)	
11	1 /30		
12	2 / 6	【最終発表】チャレンジ!まち歩きガイドの実践 まち歩き	
13	2 /13	各班で作成したまち歩きスゴログを使って、現地でまち歩きガイドに挑戦	
14	2 /20		
15	2 /27	全体振り返り・まとめ 完成したまち歩きスゴログを眺め、各班のガイドで印象に残ったポイントを共有	

講座風景



オリエンテーション



ゲスト講師による講義



まち歩きスゴログ制作風景



主任講師によるまち歩き

最終発表

班に分かれて気になるまちを取材し、まちの魅力や見どころを詰め込んだ「まち歩きスゴロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。



1 班
「上町台地～古代から現代へ～」



2 班
「古くて新しい進化し続ける町。中津」

3 班
「古民家再生と歴史が混在する街」



4 班
「長堀通の今昔」〈元長堀川〉



受講者の声 (アンケートより)

- チームで協力しあえたのがとても良かったです。一人では出来ないことがみんなで作れたと思います。
- 日頃なにげなく歩いている街も、調べてみると色々分かり面白かった。
- 陸奥先生の講座、最高におもしろいですね！スゴロクを作る目的もよかったです。

本科特別コース「まちづくりの種まき」

主任講師からのメッセージ

アップサイクルをまちづくりの視点からも取り入れたカリキュラムにしようとした今年ですが、突然ふって湧いたのではなく、過去からの流れで行きついたテーマであったことから、過去を含め全3回の「まちづくりの種まき」のプログラムについて振り返ります。

※アップサイクルとは … 不要になったものを新しく作り変えることで循環させ、新しい付加価値をつけることを意味しています。たとえば不要になったランドセルを大人用のサイフにしたり、跳び箱をテーブルにしたりと、モノづくりの分野ではよく見られる手法です。

(令和3年)①ポジティブ思考の種まき

地域活動は言い換えれば、生涯学習の場。そんな場を活用しない手はないと考えるか、逆に人間関係が煩わしい、地域活動をすると疲弊すると取るか。まちづくりや地域活動にネガティブ要素の含まれる種があるなら、迷わずポジティブの種にまきなおしましょう。

(令和4年)②自己認識の種まき

まちには多種多様な人がいて、活動を始めるといろんな価値観をお互いに共有したり、認め合う場面に遭遇します。しかし、他者を知る前にまずは自分の本質や潜在意識にある自分のタイプを知ることからはじめてみましょう。

(令和5年)③アップサイクルな視点を持つ種まき

一般的に、まちづくりのワークショップでは、地域の課題を洗い出し、解決策を考えようというプロセスが多いのですがその真逆。いままで気付かなかった資源、不要だと思っていたことなど、今ある資源を活かしたり、視点や発想を変えてみるアップサイクルの方法でまちを編集してみましょう。

全3回を通して、まちづくりをする前の心構え、自己認識、視点や発想の変換について種まきをしてきました。それらは、これから変化の激しいまちで暮らし、社会で自立して行く上で大切なセルフマネジメント(自己管理)やレジリエンス(柔軟性と回復力)にも活かされることでしょう。逆境や困難が訪れたり、災害やいざという時にもこれらの種を思い出し、持続可能なまちづくりに役立てていただければ幸いです。

さて、次年度はこれまでまいた種から花が咲くことをめざしてステップアップした内容で実施する方向で検討しています。自己認識→自己開示→自己表現→自己実現へと移行させていくプロセスを、自分たちの身近にあるまちをフィールドで共に学び、アクションを起こしながらよいまちの未来づくりへと一緒に歩いていけたらと望んでいます。



主任講師

山田 摩利子



本科特別コース「まちづくりの種まき」

まちの課題やまちの未来をアップサイクルの視点から考え、まちづくりの基本、コミュニケーションの大切さを学びました。

日時 10/21～11/25 毎週土曜日 10:00～12:00 全5回
※第3回のみ11/2(木) 19:00～21:00

参加者数 15名(のべ59名) **会場** 総合生涯学習センター

1 10/21

中津のまちづくりのオープン化

～まちづくりに大切なこと・中津の今～

うめきた開発により大きく変化していくまち「中津」の取り組みをもとに、まちづくりのアップサイクルについて

山田 摩利子

一般社団法人うめらく代表理事/
インキュベーター

2 10/28

コミュニケーションの大切さ

地域あるある「ごみ問題」

まち歩き

課題の解決はコミュニケーションから「ごみ問題」について考える
実際にごみ拾いしながら、中津地域へまち歩き

藪内 文彦

J関西法人 営業部部长

3 11/2

地域みんなで取り組む 福祉のアップサイクル

「まちで安心して暮らすために大切なこと」について一緒に考える

山田 摩利子

【ゲスト講師】

清中 崇司

ウェルビな医師/神戸・クリニック院長

4 11/18

誰一人取り残さない アップサイクル防災

熊本県益城町で避難生活を通して学んだ、
いざというときのつながりづくり防災の心得について

山根 一毅

大阪YMCA部長/ユース事業部責任者/
グローバル事業グループ長

5 11/25

アップサイクルまちづくりのお話

～自分のオープン化～

講座を振り返り、リアルな現場の活動につなげる

山田 摩利子



ごみ拾いをしながら
中津地域へまち歩き(第2回)



地域みんなで取り組む福祉について(第3回)



防災について自分たちにできることや
役割について考える(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 聞くだけでなくワークなどを実施した参加型の講座だったのでよかったです。
- 今あるものに価値を創造することが、地域で何かを始めるのに必要な考え方だと思いました。
- 自分と違う年代の方々と価値観の交流ができてよかったです。



専科 ①

チャレンジ★インタビューコース

社会の課題を解決するにはインタビューカが必要だ
～自分が変わる カッコイイ大人に会いに行く～

マコの編集者からインタビューについて学び、アポ取りからインタビューの実践までを受講者自らの力でチャレンジしました。社会やまちとつながり、社会課題の解決への第一歩を踏み出しました。

日時 7/20～9/7 毎週木曜日 19:00～21:00 全6回 ※8/10、8/24を除く

参加者数 19名(のべ89名) 会場 総合生涯学習センター

1	7/20	オリエンテーション 全6回のコースの流れの説明、講師の社会課題への取り組み事例の紹介 受講者同士の交流タイム・自己紹介、相互インタビュー	中川 悠 NPO法人チュラキューブ代表理事/ 株式会社GIVE&GIFT代表取締役
2	7/27	社会貢献のプロにインタビュー① ～病院を訪問する道化師(クラウン)の仕事～ 社会で活躍するゲストへのインタビューの実践 SDGsの解説、社会課題に関するワークショップ	中川 悠 【ゲスト】 熊谷 恵利子 認定NPO法人 日本クリニックラウン協会事務局長
3	8/3	社会貢献のプロにインタビュー② ～すべての人にチャンスを生み出す仕事～ 社会で活躍するゲストへのインタビューの実践 インタビューに向けたワークショップ	中川 悠 【ゲスト】 佐々木 研 CH代表/チャンスメーカー/ 一般社団法人ミライ企業協議会代表理事/ 人を大切に経営学会関西支部事務局長
4	8/17	グループワーク インタビュー対象者の決定とチーム分け インタビューに向けた準備	中川 悠
5	8/31	グループワーク オンライン 各チームの進捗状況の共有・相談	
6	9/7	成果発表会 チームごとにインタビューにチャレンジした成果を発表	



はじめまして♪
受講者同士の交流・自己紹介(第1回)



社会貢献のプロ(ゲスト)への
インタビュー内容をみんなで考え中(第3回)



インタビューにチャレンジした
成果をグループごとに発表(第6回)

受講者の声 (アンケートより)

- 主体性を尊重して進めてくださったのが良かったです。カッコイイ大人に会いに行き、その方のことについて深く知り、ご縁をいただけたことに感謝。
- 20年以上前から生涯学習で何度か学んできましたが、ここまで学ぶ前と後で全く違う新たな視点が得られた講座はなかなかありませんでした。
- これからがんばる勇気をもらいました！ありがとうございます。講師の人たちだけでなく、参加者の視座の高さに触発されました。



いのちを守る防災コース

災害時における様々な立場の人への支援方法や、避難所の運営や備えまで、防災・減災に必要な考え方を様々なテーマで学びました。

日時 7/22～8/26 毎週土曜日 14:00～16:00 全5回

参加者数 26名(のべ102名) 会場 総合生涯学習センター

1 7/22

大阪防災メソッド～もし今災害が起こったら～

地震、台風、高潮等、大阪で特に注意が必要な災害についての解説や、備蓄、避難の考え方、大阪市防災アプリの活用について

多田 裕亮
大阪防災企画 代表/防災士

2 7/29

誰ひとり取り残さないために

～要配慮者への支援を考える～

要配慮者の方々が抱える課題や災害時にどのような支援が必要か考える

野村 恭代
大阪公立大学 都市科学・
防災研究センター教授

3 8/12

その時わが子を守るには

～乳幼児がいる家族に必要な備えを考えよう～

乳幼児向けの備蓄品や携帯トイレの使い方の紹介、
災害時に活用できるポリ袋フッキングの実演

益田 紗希子
特定非営利活動法人
ミラクルウィッシュ 代表/
あべの親子防災部/
さんだ女子防災部/防災士

4 8/19

みんなで助かるための避難所運営

避難生活についての解説、避難所運営シミュレーションの体験

湯井 恵美子
一般社団法人福祉防災
コミュニティ協会 上級コーチ/
防災士

5 8/26

災害に備える生活継続計画の作成

被災した時に日常生活に戻るまで、どのように対策し、過ごすか
シミュレーションしておく生活継続計画を考えるワークショップ

生田 英輔
大阪公立大学 都市科学・
防災研究センター教授



大阪市防災アプリの紹介(第1回)



携帯トイレの紹介(第3回)



避難所運営シミュレーション(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 全ての回で勉強になりました。日頃からの備え、意識しながら生活することの大切さ、気づきを学びました。
- 具体的な内容が多く、“備え”について考えさせられました。
- これから災害にあう可能性があるため、大変有意義でした。



こどもと地域社会コース

子どもを中心とした地域のつながりづくりや子どもに関わる地域課題の取り組みなどの様々な事例を通して、子どもの権利を軸に子どもも大人も安心して過ごせるまちづくりについて考えました。

日時 9/2～9/30 毎週土曜日 10:00～12:00 全5回

参加者数 19名(のべ95名) 会場 総合生涯学習センター

1	9/2	「子ども基本法」で何が変わるのか? ～子どもといっしょにまちづくりを始めよう!～ 子どもの権利を根づかせるための新しい枠組み、 「こども基本法」をテコに何ができるかを考える	田中 文子 公益社団法人 子ども情報研究センター理事
2	9/9	子どもの権利条例はどのように履行されているか ～川崎市子ども夢パークの例～ 子どもの権利条例を基に作られた「川崎市子ども夢パーク」で過ごす 子ども達の姿から、「子どもの権利とは?」について	重江 良樹 映画監督
3	9/16	多民族共生教育の拠点として「いくのパーク」の可能性 ～「民族保育」の観点から～ 5人に1人が外国籍住民の大阪市生野区のまちの課題と 未来について民族保育の観点から考える	森本 宮仁子 NPO法人 IKUNO・多文化ふらっと (共同)代表理事/ 社福)聖和共働福祉社会事務局長
4	9/23	子育て中「でも」子育て中「だから」できること スタッフ全員が子育てしている「ままちっち」が活動してきた情報発信や 場づくりの事例や子育て中のスタッフだからこそ生まれた企画・事業の紹介	林 静香 一般社団法人 codomoto ままちっち代表理事
5	9/30	地域における子どもの遊び場づくり 子どもにとって「遊ぶことは生きること」。まち全体、地域全体で 楽しみながらできるあそび場づくりについて	梶木 典子 神戸女子大学家政学部 教授



子どもの権利について考える(第1回)



ままちっちの活動紹介(第4回)



プレーカーの活動について(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- 自分自身の活動に活かせる内容で、たくさんのヒントを得ることができました。
- 子どもへの取り組みがいろいろな角度から行われていることがよくわかりました。
- 子どもの権利について考えていきたいと思いました。



ここから始める情報発信コース

地域活動や団体の情報発信に有効なSNSについて、それぞれのSNSの特徴や運用の注意点と共に、SNS活動に欠かせない写真と動画の撮影・編集について学びました。

日時 1/25～2/8 毎週木曜日 19:00～21:00 全3回

参加者数 33名(のべ83名) 会場 総合生涯学習センター

1 1/25

SNSを活用した広報について

情報を届けたい相手に合わせたそれぞれのSNSの使い分けやSNSの更新を続けていく上で必要なこと、注意する点について

ミナミ シゲユキ

プロダクション レキシブ代表
動画クリエイター/セミナー講師

2 2/1

スマホで出来る! 伝わる写真のコツ

少しの操作で差が付くスマホカメラの機能の紹介や、光とアングル、レンズによる写真の仕上がりの差について

山本 学

フォトグラファー

3 2/8

スマホでショート動画を作ってみよう

スマホ動画のクオリティを上げるポイントと、スマホアプリを使った動画編集の体験

ミナミ シゲユキ



それぞれのSNSのイメージ(第1回)



様々なシチュエーションで撮影体験(第2回)



グループで助け合いながらの編集体験(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- 先生は根気よく丁寧に教えて下さり、大変好感度が高く安心して受講することができました。ありがとうございました。
- 今回のような情報発信の実践的な講習がこれからもたくさんあるとうれしいです。
- 実践的な事を色々学びました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。



チームでどうする取材実践 チーム取材カマッポコース

まちづくりに必要なスキル“チームカ”と“取材カ”。本講座では、チームづくりから始まり、チームで取材を進め、取材のコツ・実践までを学びました。また、実際に地域へ出て人々の活動・取り組みなどをインタビューしました。

日時 9/30～11/4 毎週土曜日 14:00～16:00 全6回

参加者数 11名(のべ52名)

会場 阿倍野市民学習センター

1 9 / 30

インタビューの基本、取材について

ゲスト講師：林さんを招き実際の取材事例を学ぶ
後半は平川さんによる取材とは、チームとは何かについての講義

平川 隆啓
地域コーディネーター

【ゲスト講師】
林 静香
一般社団法人codomoto
ままちっち代表理事

2 10 / 7

模擬チームを作ってグループワーク、取材チームづくり

取材チームをつくるための一歩として自己紹介&ゲーム 後半は取材チームづくり

3 10 / 14

取材に向けての準備

チームに分かれて取材相手の決定 取材内容の準備・計画を進めていく

4 10 / 21

取材(インタビュー、撮影)の準備・計画

前回に引き続き取材内容の準備・計画を進めていく

平川 隆啓

5 10 / 23

地域に繰り出し取材実践

10 / 28
各チームに分かれて取材実践

6 11 / 4

取材動画の発表

各チームの取材発表 取材の振り返り



模擬チームを作ってグループワーク



取材に向けての準備・計画



取材実践

受講者の声 (アンケートより)

- 成長できたことはまちがない。技術を身につけた。
- 大変学びがあり素晴らしい人たちと出会いもあり満足する企画でした。
- 初めてのインタビューでありメンバーにも恵まれてとても良かったです。



まちづくり はじめの一步コース

「地域の交流を促進したい」「地域の課題や問題を解決したい」「地域の魅力を高めたい」等、これからまちづくりを始めたい人の
はじめの一步を“見える化”しました。

日時 11/11～11/25 毎週土曜日 13:30～16:30 全3回

参加者数 7名(のべ14名)

会場 難波市民学習センター

1 11/11

オリエンテーション | 地域の交流を促進する
各自のコミュニティを洗い出すとともに、地域でやりたいことの
明確化をしたうえで、地域の交流を促進する方法を見出す

主任講師
今井 司
Share de たかつき 代表/福祉家

2 11/18

地域の課題や問題を解決する
地域の課題や問題を洗い出し、目的から整理、グルーピングし、
複数を組み合わせた解決方法を考える

講師
江澤 由
イベントアドバイザー

3 11/25

地域の魅力を高める | まとめ
地域の魅力を洗い出したうえで、魅力を高め、
やりたいことを実現するためのステップを考える

小笹 清
一般社団法人ハレマチフジデラ代表/
地域づくりパートナー

木戸 美伸
行政書士/
ヒト・コト・モノの見える化サポーター



交流を促進する方法を考える(第1回)



地域の課題や問題を洗い出す(第2回)



地域の魅力を高める事例紹介(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

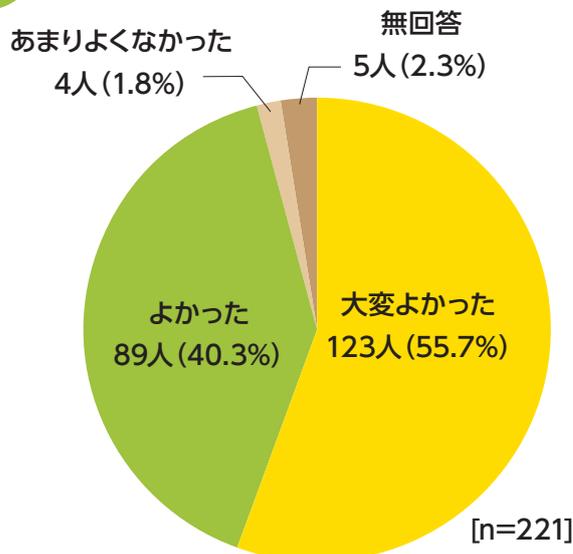
- 皆で問題解決の方法を見出させ、色々な意見を聞く事ができてよかった。
- 資料も十分に用意して下さい、とても分かりやすく、タイムスケジュール通りにしていただき、ありがとうございました。

【令和5年度 いちょうカレッジ アンケート集計結果】

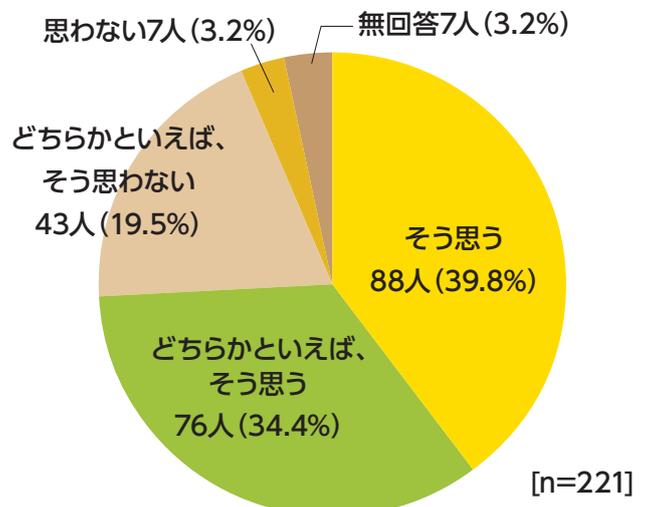
いちょうカレッジ受講実績

	コース名	定員	応募者数	受講者数	のべ受講者数
入門科	大阪のまち文化コース	30人	145人	40人	139人
	大阪のまち探検コース	30人	187人	44人	158人
プレ本科	まちとつながる / 感覚のブリコラージュコース	30人	26人	24人	77人
	大阪の魅力発見コース	30人	126人	26人	116人
本科	まちとつながる / 感覚のブリコラージュコース	20人	23人	20人	181人
	大阪の魅力発信コース	20人	29人	27人	315人
	本科特別コース「まちづくりの種まき」	20人	18人	15人	59人
専科	チャレンジ★インタビューコース	24人	24人	19人	89人
	いのちを守る防災コース	30人	59人	26人	102人
	こどもと地域社会コース	30人	23人	19人	95人
	ここから始める情報発信コース	30人	66人	33人	83人
	チームでどうする取材実践 チーム取材力アップコース	25人	11人	11人	52人
	まちづくり はじめの一步コース	30人	11人	7人	14人
合計		349人	748人	311人	1,480人

Q 講座の満足度はいかがでしたか？

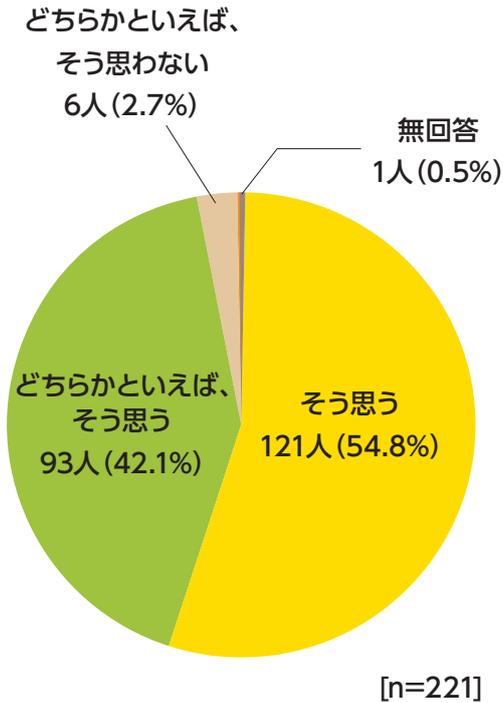


Q この講座で学んだことを活かして、ボランティア活動やグループ活動に関わりたいと思いますか？

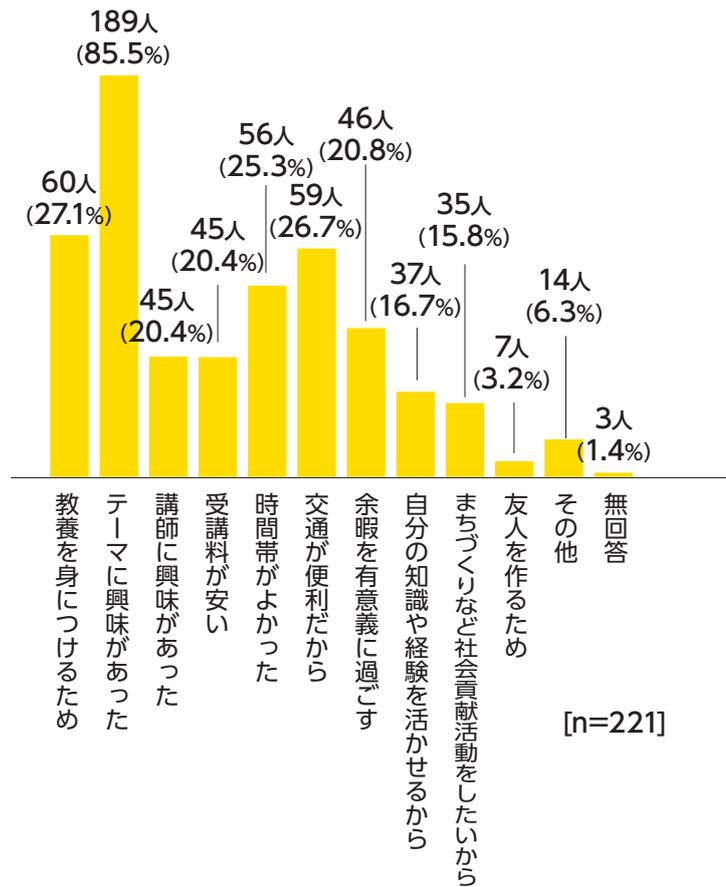




この講座を通して学んだ内容や関係するテーマなどについて、引き続き学習を続けたいと思いますか？



受講動機はなんですか？



受講者の声 (※アンケートより一部抜粋)

- 今まで講座に参加したことがなかったので、すべてが新鮮でした。新しい経験ができ、満足しました。
- アイデアの引き出しが少しずつ増えていった。
- いろいろな知識が得られました。実践的なことも教えていただき、とても勉強になりました。

令和6年度 いちょうカレッジの募集について

令和6年度のいちょうカレッジのご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民情報センター・図書館等で配架予定の総合パンフレット・各コースの個別チラシをご覧ください。



いちょうカレッジ ホームページ

<https://osakademanabu.com/college>



いちょうカレッジ Facebook ページ

<https://www.facebook.com/icho.college.OSAKACITY>



お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和5年度 大阪市生涯学習まちづくり市民大学
[いちょうカレッジ]報告書

編集・発行 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発行日 令和6年3月



いちよう カレッジ

OSAKA CITY

● 主催 ●

大阪市立総合生涯学習センター

(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)